

## 令和4年度 第1回平田地域協議会会議録（要約）

日 時	令和4年5月24日（火）午後1時30分～午後3時10分			
場 所	ひらたタウンセンター 集会室			
出席委員	13名			
	1号委員	石井 光一	田中井広志	佐藤 美恵
		高橋 宗一	池田 公夫	佐藤 善仁
		今井さち子	丸山 清	枝 春男
		加藤佐和子		
	2号委員	石黒 由香	佐藤 正一	須田 祐司
欠席委員	2名			
	1号委員	前田 恵次		
	2号委員	古川麻衣子		
酒田市出席者	平田総合支所長			佐藤まゆみ
	平田総合支所長補佐兼建設係長			佐々木 豪
	平田総合支所長補佐兼地域振興係長			高橋 美津
	交流観光課観光戦略主査			小林 和也
	平田総合支所地域振興係主任			渡部 知也
傍 聴 者	なし			
議事日程	1. 開会			
	2. あいさつ			
	3. 委員・職員自己紹介			
	4. 会議録署名委員の選任			
	5. 報告			
	(1) 令和3年度 三地区地域協議会合同市長報告会への報告内容について			
	(2) 令和4年度 平田地域関連予算について			
	6. 協議			
	(1) 令和4年度 平田地域協議会の開催予定について			
	(2) 「平田地域の資源を活用した観光戦略について」			
	(3) その他			
	7. その他			
	8. 閉会			

### 【協議会の概要】

委員の退任に伴う新たな委員に佐藤善仁委員への委嘱状を交付した。

令和3年度市長報告会、令和4年度平田地域関連予算について報告があり、今年度の地域協議会の年間計画について協議した。今年度は4回開催とし、主な内容を令和3年度市長報告会に提案した、交流人口の拡大について協議することとした。

## 【会議録（要約）】

### 1. 開会

- ▶事務局より開会と委員2名欠席の報告

### 2. あいさつ

- ▶石黒由香会長あいさつ
- ▶佐藤支所長あいさつ

### 3. 委員・職員自己紹介

- ▶委員13名と事務局5名の自己紹介

### 4. 会議録署名委員の選任

- ▶会議録署名委員は、名簿の順番に指名することとし、池田公夫委員を指名した。

### 5. 報告

#### (1) 令和3年度 三地区地域協議会合同市長報告会への報告内容について

- ▶石黒由香会長が、資料にて説明した。

#### (2) 令和4年度 平田地域関連予算について

- ▶佐々木支所長補佐及び高橋支所長補佐が、資料にて説明した。補足として酒田市上下水道工務課からの今年度の平田管内工事予定について佐々木支所長補佐が説明した。

#### ○石黒由香会長

軽度生活援助事業は以前からあった事業か。

#### ○佐藤支所長

以前からあった事業である。

#### ○佐藤正一委員

ひらた賑わい創出事業の「ひらたこばいちゃ」の詳しい説明はあるのか。

#### ○佐藤支所長

本日の会議での説明は予定していない。令和2年度に植木まつりからリニューアルしたイベントだが、令和2、令和3年度とコロナで開催できずにいた。今年は7月18日に予定しており、今後実行委員会にて内容を詰めていく。

#### ○佐藤正一委員

植木まつりからという説明だったが、今年は植木まつりはやらないのか。

#### ○佐藤支所長

植木まつりは令和元年度を最後に終了した。3店舗あった植木屋さんも減るとのことだった。昨今の家庭環境等の移り変わりもあり、時代に見合ったイベントにリニューアルしたほうが良いのではないかと実行委員会で話し合い、新たに始めるもの。

### 6. 協議

#### (1) 令和4年度 平田地域協議会の開催予定について

- ▶佐藤支所長が、資料にて説明

#### (2) 「平田地域の資源を活用した観光戦略について」

- ▶小林観光戦略主査が、資料にて説明

#### ○石井光一委員

里山体験ツアーは今年度どういったものを予定しているのか。

#### ○小林観光戦略主査

旧阿部家を使った里山体験ツアーは12月～1月に実施したので、炉端焼き等冬のメニュー

が主になった。参加者から好評だったので、次は夏秋に向けた新しいメニューについて、四季を楽しむ会にご相談している。山に入って山菜・キノコの勉強や、山菜の塩蔵技術の伝承等いろいろとアイデアはあると思う。旧阿部家以外の小林温泉も出来ることはどんどんやっていきたい。

○石井光一委員

里山体験ツアーは冬に集中した。来年以降は年間通して実施すればもう少し幅も広がるのではないか。今の時期なら山菜採りやその調理、実際に孟宗竹を掘って生育の環境や状態により様々な形になることを体験してもらうのも良いのではないか。

○小林観光戦略主査

孟宗竹や山菜採りは他人の山に入ることになるので、地域の方の協力が欠かせない。山菜は、活用と保全のバランスが難しいが、孟宗竹ならわりと簡単に出来ると思う。

○石井光一委員

お金を支払えば蕨採り体験ができる場所もある。

○小林観光戦略主査

こういったイベントはすべて有料にすることが必須であり、きちんと参加費をいただいて参加費の中から賄える事が重要。初期のインシャルコストの部分だけ行政で出すのみで、維持管理費が捻出できないと長くは続かない。無理無くできる人ができる範囲でやるのが大事だと思う。

○石黒由香会長

このイベントの周知方法と参加者の地域や年齢の傾向を教えてください。

○小林観光戦略主査

雪山のサバイバルツアーは仙台圏に向けてPRをおこなったので、参加者の殆どは仙台圏の方。冬期間は移動時間の誤差が少ない電車で来られる範囲の方を対象とした。トレッキングや山登りが好きな方なので、年齢は若い方から年配の方まで様々だった。必要な装備等を写真付きで送っても、相手に良く伝わらなかったりした。実際にやってみて初めて分かり、そこからノウハウを積み上げていった。旧阿部家の里山体験ツアーはサバイバルツアーとセットになっていてサバイバルツアーをするか里山体験をするか、どちらか選べるようにした。絵付けや炉端焼き等昔遊びも一緒にした。地元の方に無理の無い範囲でできることを提供して頂いた。八幡で実施した遊びと食の体験は酒田市内の方を対象としたので酒田市広報に載せた。毎回満員の状況で、小学生の親子限定で、未就学の弟妹も親御さん管理のもと参加できるようにした。

○石黒由香会長

これはバスで一気に連れて来たのか。

○小林観光戦略主査

バスをチャーターして来てもらったが、駐車場があれば現地集合でも構わないと思う。ツアーを募集する際は旅行業法の資格が必須なので旅行業者に依頼した。宿泊の手配は資格がないとできない。

○佐藤美恵委員

川遊びと食育体験はコロナで中止になったとのことだったが資料にあるのは、コロナ前の事業の写真か。

○小林観光戦略主査

H28~30実施したものである。

○佐藤美恵委員

屋外であってもコロナの影響でこれほど集まるのは難しいという判断だったのか。

○小林観光戦略主査

食材を囲むので難しかったし、地元の方自体も集まることへの抵抗もあった。ノウハウは蓄積されたので、また実施できるようになったらやる予定。

○佐藤正一委員

平田でのイベントを企画する際に小林主査からアドバイスを頂けるか。

○小林観光戦略主査

勿論である。八幡の川遊びイベントの際も交流観光課から八幡に何度も行って話し合いをしてつくりあげた。

○佐藤正一委員

アイアイ平田の周辺でのキャンプについて話し合われているようだ。お風呂を除き、水の設備やトイレ等の問題をいかに解決してうまくいくのかということをお話し合われていると思うがアドバイスを頂けたらありがたい。

○小林観光戦略主査

キャンプをするうえで必須なのは水回りや洗い場、トイレ、炊事場である。炊事場は簡単なものなら作れるがトイレはそういう訳にはいかない。アイアイは閉館時間までしか使えないので、その問題解決のハードルはかなり高いと思う。

○佐藤正一委員

それを何とか解決できる方法は無いものか。

○小林観光戦略主査

トイレさえあればなんとかなると思っているが、仮設のトイレは好まれないので水洗洋式であることは必須だと思う。下水道が無いので浄化槽方式になるが、その処分水の行方も考慮するとかなりの金額になるのではないかと思う。こういうことがキャンプ場問題の進まない一番の理由である。

○佐藤正一委員

実際にどのくらいの費用がかかるか調べることはできるか。

○小林観光戦略主査

便器数や面積、使用する水量等の仕様に基づくトイレをいくらで作れるかの見積もりが必要だが、見積もりは出せてもそのお金がすぐに出てくるとなるとハードルが高いと思う。むしろアイアイをキャンプ場にするのであればB&Gや東陽コミ振、ひらた生涯学習センター等水回りもあってすでに宿泊が出来る場所の周辺にキャンプ場を置いた方がずっと現実的であると思う。お風呂の無いキャンプ場はたくさんあるので、お風呂はそこまで入りに行けばいいだけである。そこで食材や飲み物も調達できればアイアイにもお客さんが来るし中山間地のほうにもキャンパーが行く。そこに管理の問題をどうするのかということは考えなければならないが高額のトイレを作るよりはずっと現実的だと思う。

○佐藤正一委員

東陽コミ振の裏の方にあるところをキャンプ場に整備すればコミ振も使えるので、可能性があるのではないかと思う。ピクニックランドもよいのではないか。考えれば様々な方法があるので助言をいただくとありがたいと思った。去年からの話で丸山副会長から東陽コミセンのところの管理運営を別の方向にという話があったが、その後どんな進み方になっているのか。

○丸山清副会長

結果的にはまだ進んでおらず今年に引き続きという事になる。コロナ禍で閉館していた時期もあったので、なかなか進まなかった。仁助新田は三つの沢の真ん中なのでそこを中心に山岳巡りやピクニックランド、水辺の楽校。川あり山あり山岳ありで、地域の食材を使った形という事をいろいろ話しているところだが、頓挫しているので進めていきたいと思う。

○須田祐司委員

ひらた生涯学習センターの脇の川は中野俣の水辺の楽校と同じように一度整備をしたが、泥が被っている。舗装の遊歩道や渡り石もあるので、水辺の楽校的要素がたくさんある。そこを整備するのであれば、わりとお金がかからず簡単に出来るのではないか。宿泊施設と水辺の楽校的なものがあれば、誘客はできるのではないか。また、田沢コミュニティ振興会が旧田沢小学校に移るといふ考えがあるが建物の全部を利用するには大きすぎると考える。その中で宿泊体験等もできるような施設になっていければと思う。ただ先ほどのお話で観光業等の制約もあるようなので少し難しいとも思う。

○小林観光戦略主査

実際に旧小学校をコミュニティセンターとして使っている事例は八幡、松山にあるのでそういったところは参考になる。ただ、コミセンとしての制約を受けることになる。例えば自由に宿泊して使えないとか。それはそれで使いづらくなる可能性もある。いろんな選択肢はご検討いただいたほうが良い。

○石黒由香会長

最初の小林主査のお話しに平田の特色は分散していてこれといった特色が無いとの事だったが、分散しているからこそ、ビーズに例えれば一個一個にはわざわざ行かないけど、それをネックレスにしたら来る人もいるみたいなイメージで私は捉えている。今、皆さんの話を聞いていても以前とは違い、高望みではなく本当にあるものを活かそうという何かが変わったと思った。お金をかけなくても人が集まって楽しめるものができると思うので煮詰めていけたらと思った。ありがとうございました。

○小林観光戦略主査

平田の資源を使ってお客さんを呼ぶ際に、他に中学生や高校生、若い人達等外から平田を見れる人達とワークショップ形式で平田のこれからについて考える会をやってみたらどうか。やってみると面白い発見があったりする。特に平田はアクセスしやすいので、すごくポテンシャルはあると思う。

○石黒由香会長

今年度限りだが、東部中学校を巻き込むとJALのCAさんからサポートをして頂けるという企画もあり、奥の深いものができるのではないかなと思うので、中学生にも声を掛けたらいいかなと思う。

○小林観光戦略主査

明日その打合せに行く予定なので、この場で地域協議会として一緒にいろんな意見を出そうというのであれば、中学校に伝えたい。何をやるかというよりも何が出来るかを一緒に考えましょうということ。

○石黒由香会長

皆さん異議ありませんか。よろしく申し上げます。

(2) その他

▶次回の地域協議会開催日程について

6月23日(木)午後1時30分～に決定

7. その他

▶車賃支払いの事務連絡

8. 閉会

▶丸山清副会長閉会